

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 八木 隆夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 平松 帝人

TEL 06-6266-7332

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,241	2.9	135		110	73.7	110	68.2
2022年3月期第1四半期	18,702		155		420		347	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 632百万円 (114.1%) 2022年3月期第1四半期 295百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	13.27	
2022年3月期第1四半期	41.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	64,644	35,366	54.7
2022年3月期	64,702	35,149	53.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 35,366百万円 2022年3月期 34,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	1.9	2,000	77.6	2,200	62.1	1,100	200.1	132.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	9,200,000 株	2022年3月期	9,200,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	873,865 株	2022年3月期	873,865 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	8,326,135 株	2022年3月期1Q	8,301,935 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、まん延防止等重点措置の解除やワクチン接種の浸透等に伴い、行動制限の緩和と個人消費の持ち直しもあり、景気の好転が期待されました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢による世界的なエネルギー価格の上昇、原材料価格の高騰、急速に円安が進行する為替動向など、経済的不安要素が顕在化しており、常に景気の下振れリスクを孕んだ状況にあります。

当社グループはこのような厳しい環境のもと、3ヵ年の中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」の最終年度を迎えており、4つの重点方針である「経営体制の高度化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「次世代事業の創出」、「サステナビリティの着実な実行」の総仕上げに向け、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み強化、ブランドビジネスの強化に尽力しております。

なかでもサステナビリティにおいては、YAGIthical（ヤギシカル）と名付けたエシカル活動を根気強く継続しており、また市場で益々関心が高まっている環境配慮型商材の積極的な開発、ブランディング、販売活動をグループ全体で展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は19,241百万円（前年同期比2.9%増）となりました。しかし、原料価格や物流経費の高騰、円安基調といったコスト高に歯止めがかからず、価格改定交渉を行い一般管理費の見直しや物流改革に取り組んでまいりましたが、これらの影響を克服するには及ばず、営業損失は135百万円（前年同期は155百万円の営業利益）、経常利益は110百万円（前年同期比73.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110百万円（前年同期比68.2%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①マテリアル事業

環境配慮型素材については売れ行きが堅調であり、オーガニックコットンやリサイクル合繊糸においても引合いが多く好調な動きを見せました。しかし、天然繊維・合成繊維ともに、原料価格の高騰により定番素材の販売量は減少し、コロナ禍以降の回復が厳しい状況となりました。

この結果、売上高は5,039百万円（前年同期比27.7%減）、セグメント利益（経常利益）は186百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

②アパレル事業

コロナ禍による巣ごもり需要から好調を維持していたホームウェア等の一部商材は、昨年度より勢いが落ちましたが、レディス向けを中心に夏物衣料やアウトドア、スポーツ商材は、行動規制の緩和を受け店頭での客足が徐々に回復することで、堅調に推移しました。

しかし、原材料費や物流コストの上昇に加え、急激な円安進行により仕入価格が高騰し苦戦を強いられました。また、生産面においても、中国のロックダウンによりデリバリーが停滞し、納期遅延やサンプル作成の遅れにより商機を逸するなど混乱が生じ、収益確保に苦戦する状況となりました。

この結果、売上高は11,753百万円（前年同期比25.2%増）、セグメント利益（経常利益）は368百万円（前年同期比51.5%減）となりました。

③ブランド・ライフスタイル事業

ブランド品を扱う事業においては、コロナ禍は続くも規制緩和で客足も少しずつ戻り、一部春夏商材が好調に推移しました。しかしながら、まだ収益規模は小さく、依然秋冬商材が収益の核となっており、経費が先行する状況になっています。

一方、生活資材や家庭用抗菌抗ウイルス商材を扱うライフスタイル事業では、衛生マット関連商品が牽引するなど堅調に推移しました。

この結果、売上高は2,904百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント損失（経常損失）は359百万円（前年同期は257百万円のセグメント損失）となりました。

④不動産事業

当セグメントにおきましては、賃貸事業において新型コロナウイルス感染症の影響から一定の回復が見られ、売上高は211百万円（前年同期比29.6%増）、セグメント利益（経常利益）は133百万円（前年同期比39.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、49,137百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、15,507百万円となりました。これは、投資その他の資産のうち、投資有価証券が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ329百万円減少し、22,186百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、7,092百万円となりました。これは、繰延税金負債が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、35,366百万円となりました。これは、非支配株主持分が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想(2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,809,611	5,514,015
受取手形及び売掛金	22,129,551	20,581,552
電子記録債権	7,705,621	8,639,370
棚卸資産	9,029,701	10,094,761
その他	3,582,193	4,357,129
貸倒引当金	△46,108	△49,782
流動資産合計	49,210,571	49,137,046
固定資産		
有形固定資産	4,513,901	4,633,700
無形固定資産		
のれん	301,326	271,194
その他	853,320	812,238
無形固定資産合計	1,154,647	1,083,432
投資その他の資産		
投資有価証券	6,058,801	6,348,680
その他	4,769,440	3,911,291
貸倒引当金	△1,005,215	△469,313
投資その他の資産合計	9,823,025	9,790,657
固定資産合計	15,491,574	15,507,791
資産合計	64,702,146	64,644,837
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,136,911	10,013,803
電子記録債務	1,939,881	2,383,727
短期借入金	4,490,000	3,916,060
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	109,812	164,924
賞与引当金	526,316	387,326
その他の引当金	63,663	31,969
その他	4,949,916	4,988,764
流動負債合計	22,516,501	22,186,574
固定負債		
長期借入金	4,613,469	4,614,570
繰延税金負債	134,680	227,622
引当金	56,635	9,910
退職給付に係る負債	1,109,745	1,115,614
その他	1,121,652	1,124,474
固定負債合計	7,036,183	7,092,192
負債合計	29,552,685	29,278,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	71,113	42,699
利益剰余金	33,248,987	33,328,024
自己株式	△727,993	△727,993
株主資本合計	33,680,107	33,730,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472,228	1,513,294
繰延ヘッジ損益	214,351	548,224
為替換算調整勘定	2,038	165,222
退職給付に係る調整累計額	△643,735	△591,401
その他の包括利益累計額合計	1,044,883	1,635,340
非支配株主持分	424,470	—
純資産合計	35,149,460	35,366,070
負債純資産合計	64,702,146	64,644,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	18,702,216	19,241,561
売上原価	14,561,974	15,689,098
売上総利益	4,140,242	3,552,462
販売費及び一般管理費	3,984,249	3,688,348
営業利益又は営業損失(△)	155,992	△135,885
営業外収益		
受取利息	6,776	2,715
受取配当金	110,095	97,856
為替差益	21,960	89,103
持分法による投資利益	119,023	42,077
その他	57,295	53,430
営業外収益合計	315,151	285,184
営業外費用		
支払利息	11,637	7,824
貸倒引当金繰入額	27,894	23,422
その他	11,105	7,578
営業外費用合計	50,637	38,825
経常利益	420,506	110,472
税金等調整前四半期純利益	420,506	110,472
法人税等	127,290	68,780
四半期純利益	293,215	41,692
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,132	△68,826
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,348	110,518

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	293,215	41,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93,753	46,215
繰延ヘッジ損益	△106,208	333,873
為替換算調整勘定	10,515	126,675
退職給付に係る調整額	196,068	52,333
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,545	31,291
その他の包括利益合計	2,075	590,388
四半期包括利益	295,291	632,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,299	700,267
非支配株主に係る四半期包括利益	△54,007	△68,186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	6,775,148	9,016,368	2,804,079	—	18,595,596	—	18,595,596
その他の収益	—	—	—	106,619	106,619	—	106,619
外部顧客への 売上高	6,775,148	9,016,368	2,804,079	106,619	18,702,216	—	18,702,216
セグメント間の 内部売上高または 振替高	194,798	374,338	31,226	56,698	657,062	△657,062	—
計	6,969,946	9,390,707	2,835,306	163,318	19,359,278	△657,062	18,702,216
セグメント利益 または損失(△)	319,055	758,884	△257,371	95,726	916,296	△495,789	420,506

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益または損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	4,835,748	11,370,446	2,880,989	—	19,087,184	—	19,087,184
その他の収益	—	—	—	154,377	154,377	—	154,377
外部顧客への 売上高	4,835,748	11,370,446	2,880,989	154,377	19,241,561	—	19,241,561
セグメント間の 内部売上高または 振替高	204,027	383,367	23,451	57,253	668,099	△668,099	—
計	5,039,775	11,753,813	2,904,440	211,631	19,909,661	△668,099	19,241,561
セグメント利益 または損失(△)	186,592	368,094	△359,541	133,180	328,326	△217,853	110,472

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益または損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。